

キッズルームレモン

2022 年 3 月集計

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			子供たちが集中して活動に取り組めるように環境設定しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	☐			適切です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	☐			スロープなどがあり配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	☐			ミーティングを活用し日々の振り返りや個性の把握、関わり方を見直しスタッフ間で共有し目標設定している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			モニタリングのアンケートも活用し関わり方や過ごし方の改善点をあげ迅速に対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			ホームページでの公開を会報でも通達している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			☐	第三者によりの外部評価は行っていないが、他の事業所での対応を参考に業務改善に繋げる努力をしています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			ミーティングにおいて、研修会を開く機会を作っています
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			客観的な分析を考慮しスタッフ間で意見を出し合い個別支援計画を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		☐		使用しており、アセスメント時の保護者の見解も状況を図るツールにしております。それが標準化されたものか職員により周知する必要があります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐			スタッフそれぞれが意見を出し合い適材適所で膾案しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		☐		固定化より対象児の個性の把握やコミュニケーションの幅を広げるように工夫しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		☐		土曜日は余暇の提供を強化したものの、長期休暇には思い出に残る活動を

				○	中心に設定し保護者に案内しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子どもの個性や特性に合わせて活動内容を選べるように個別支援計画も作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日のミーティングにおいて確認をしています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	翌日に振り返りを実施し共有しております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		サービス提供記録にて記入すると同時に日誌を活用して検証、改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一回必ず、モニタリングを実施しスタッフ間で情報共有し判断をしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		ニーズに基づいて基本活動を組み合わせて支援を行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	相談支援員によるモニタリング時に児童発達管理責任者による状況、支援説明は行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年間計画頂いており、行事予定などは学校に応じて変わってくるので、こちらから電話で連絡を随時行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在希望は無いが受け入れの希望があった時、連絡体制を整える必要があります。 アセスメントにて必ず主治医がどこかの聞き取りはしている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要な時、相談支援事業所を通して情報共有を行っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要な時、相談支援事業所を通して情報提供を行っております。

連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要な研修など随時情報を入手している。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ渦にあって機会の創出できないと判断しております。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	コロナ渦で積極的に参加できない状況であるが情報は入手している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			モニタリングや送迎時、お迎え時に、様子などお伝えすると同時に共通理解を深めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		対応の相談として保護者の方から話を聴いて助言などさせてもらっている。保護者の対応力の向上の観点としては支援不足かもしれない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			アセスメント時にしっかり説明をさせてもらっている。随時わからないことがあれば説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談支援事業所との連携必要を検討しながら対応の相談として保護者の方から話を聴いて助言などさせてもらっている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ渦で出来る状況ではない。保護者の方にも理解を得られている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情発生時の詳細を聴取を管理者が行い、しっかり周知しながら迅速に対応できるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に通信紙を発行していると同時に、活動の案内なども随時配布して発信している。HUG を用いた連絡も密に行っている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			HUG に対応できない方に案内を配布して連絡が出来るように配慮しております。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ感染防止の観点から招待するなど出来ていない現状があります。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		策定したものを職員間では閲覧出来るようにしているが、保護者へは閲覧の配慮は不足しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修は積極的に情報を手に入れ参加している。参加したものは報告書を作成し周知しております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		職員間で身体拘束についての対応を周知して、保護者へは行わない前提であるので個別支援計画には記載していない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時に聴取し、必要あれば指示書は入手している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			過去の事例（インシデント等）をミーティング時に話し合い、共有している。